

DOJIN  
R18  
成人向け  
18歳未満の  
購入・閲覧禁止



月が見える夜に  
*I've never really liked anyone before I meet you.*

\* お二人さん7011-ス

この本は覇3の本ですが、生い立ちから描いてる本なので、一部紅覇とモ7世のSEX描写と(かぶる)紅覇ちゃん家の家族描写、3ラジと5ちゃんへのモ7世(カズキ)が載ります。

苦手な方はご注意ください。紅覇ちゃんの初恋本楽しんで

11月17日は「幸いキス」の11=20



月が見える夜に

前書き。

描き上がった初版本です。

系江霧ちやんがもし

了治ちやんを女子にしたら

どうなるかもとか、

とかゆのころはこゝろTIAをうたかた

とかもうろうした本です。(´)

月が見える夜に



上つ面な言葉を  
並べ立てる  
官僚や、侍女たち

紅羅漢は、  
今も昔も、  
この世に  
居る

二つは、  
昔も今も、  
この世に  
居る

昔から自分の周りに  
群がる人間は  
皆そうだった

嘘ばかり

そんなこと  
思っていないけれど

おれ

第三皇子と云えど  
僕を利用して  
練家に取り入るうと  
する者達が  
後を立たなかつた

紅羅漢

紅羅漢

媚を売れば  
父に気に入られることも  
思っているのだろうか

浅はかで軽薄な奴らめ

バカな人間は嫌い

母様も嫌い

なぜなのっ!

嫉妬に狂つて

なぜあの  
女の子ばかり

貴方が  
優秀じゃないから

もつと

兄と僕を  
比べるだけしか  
出来ない女

紅霸

炎兄は好き

僕を明兄と  
同じように  
接してくれる

でもこの頃は  
母様が

余り口を聞くことを  
許してはくれなかった

誰も

僕を  
見ようと  
する人間は  
いなかった





それが  
3人との出会い



あんまりにも醜い姿で  
泣くものだから

おまえたち  
捨てられたの？



子供心に  
哀れに思ったのか

う...あ...

あ...う...

あ...あ...う

それとも...

.....

ねえ  
おまえたち



僕が綺麗に  
してあげるよ

だから

おめ

まあ汚らわしい  
あんな者たちを  
連れて歩くなんて…

もつとふさわしい  
身分の者が  
おりましょうに…

紅覇様

いいのでしょうか  
私達…

うるさい  
お前達は堂々と  
していればいいんだよ

僕はこの3人を  
お付きの侍女とした

ほ、ほい  
紅覇様

まわりは反対したが  
もつと言つことを聞く  
僕じゃなかった

母が死んだ



だって悲しいなんて  
思うことすらなかった

涙なんて出ないよ



僕が十四になる頃だ

紅覇様

周りの大人達は

きらびやかに  
着飾った女を  
あてがい始めた

僕に毎晩、毎晩

女を抱けて  
言ってくる

女の手が  
舌が僕の身体をはう

僕を  
喰らおうよ……

女の汗が

跨っては

おっ

おっ

匂いが

なんて

気持ち悪い……



綺麗にして

おかえりなさいませ  
紅覇様

早く……!

女を抱く度に



嫌悪感が  
湧いて仕方ない



なんて醜い

今日の女は一段と  
気持ち悪かった

Zakura Hime

どの女も  
同じだ

自分のことばかり

僕を見よつとしないくせに

僕をどンドン  
穢していくくせに……



こ、紅覇様

そんなのいいよ！  
もつとちゃんと拭いてよね！！

早くケガの  
手当を……っ！

ねえ……！！

全然綺麗になつて  
ないじゃないか……



ずっと

気持ち悪いまま  
なんだ…

汚いんだよ…っ  
僕は…!!

胸の奥にほつきり  
開いた大きな穴がある

早く…っ

それは黒く淀んで  
拡がる一方で

綺麗にしてよ…!!

紅覇様…

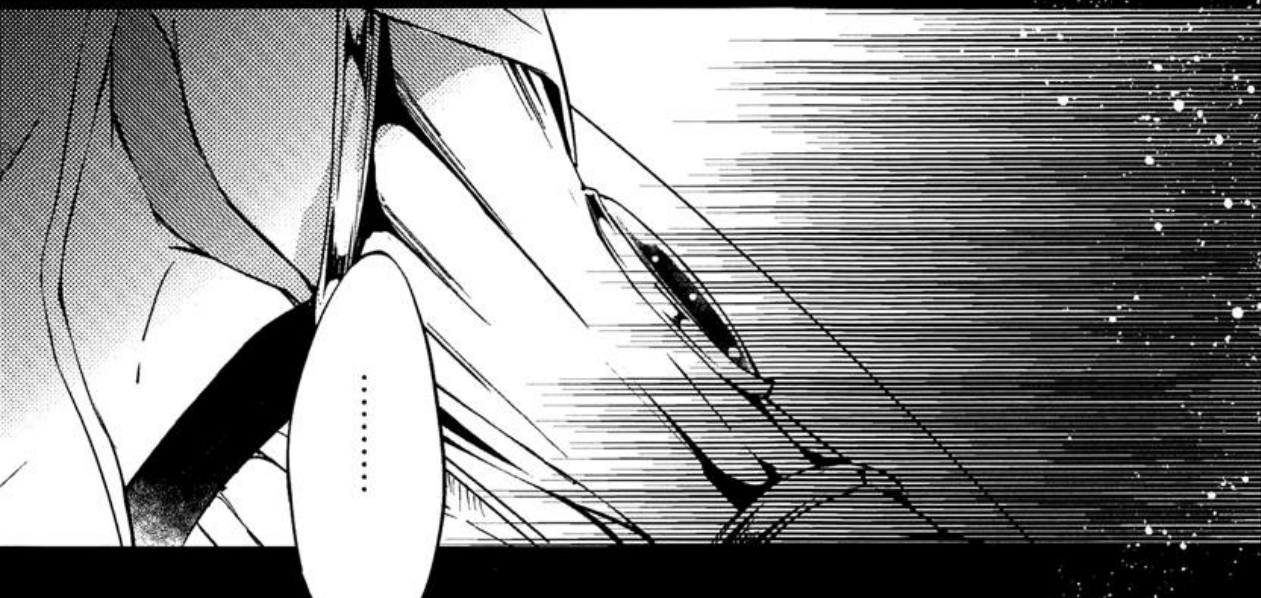
兄様達がいる

三人がいる

けど



穴は  
空いたまま







構ってくれなくても  
いいんだけど  
僕は頼んでないよっ



だったら…っ



え〜っ  
何その態度  
ひどくない？

僕が折角お前みたいなの  
相手にして  
やってるのにさ〜



何、反抗期？

ふ〜ん…



今日のお前  
らよっどムカツク！

今日は手加減なんて  
してやらないんだから



やだ  
紅覇くん…

なんだか  
今日の紅覇くん  
変だよ…っ

やめておくれよ…っ  
僕やだって  
言ってるじゃないか！

クワッ！

うんぬん

ちよつとは僕のことも  
考えておくれよ

お前のいうことなんて  
聞いてやんない

紅覇く…っ

この腕邪魔だし  
今日は縛っちゃおうか

や…っ

やだあつ…

アラジンに触ると  
興奮する

キッ…



何感じちゃった?

っ…!

おまえのここ、  
もうトロトロなんだけど

気持ち悪いなんて  
思わない



ん…

おまのこは嫌ひ

っあ…!



…

はあ

はあ…

入れるから…っ  
アラジン

むじろ…



神もいじくさぬなわね...

胸の中の大きな穴が



でも足りない

おっ

欲しい

これだけじゃ

足りない——！





何、おまえ  
なんで泣いてるのさ



もうこんなこと  
したくないって  
何度も言っただよ!

僕は……!



は？



すあ……？  
何言ってるのおまえ  
いつも気持ちよさそうに  
よがってるくせしてさあ

そんなこと  
よく言えるね



紅羅くんなんで……っ

ポロ

ポロ

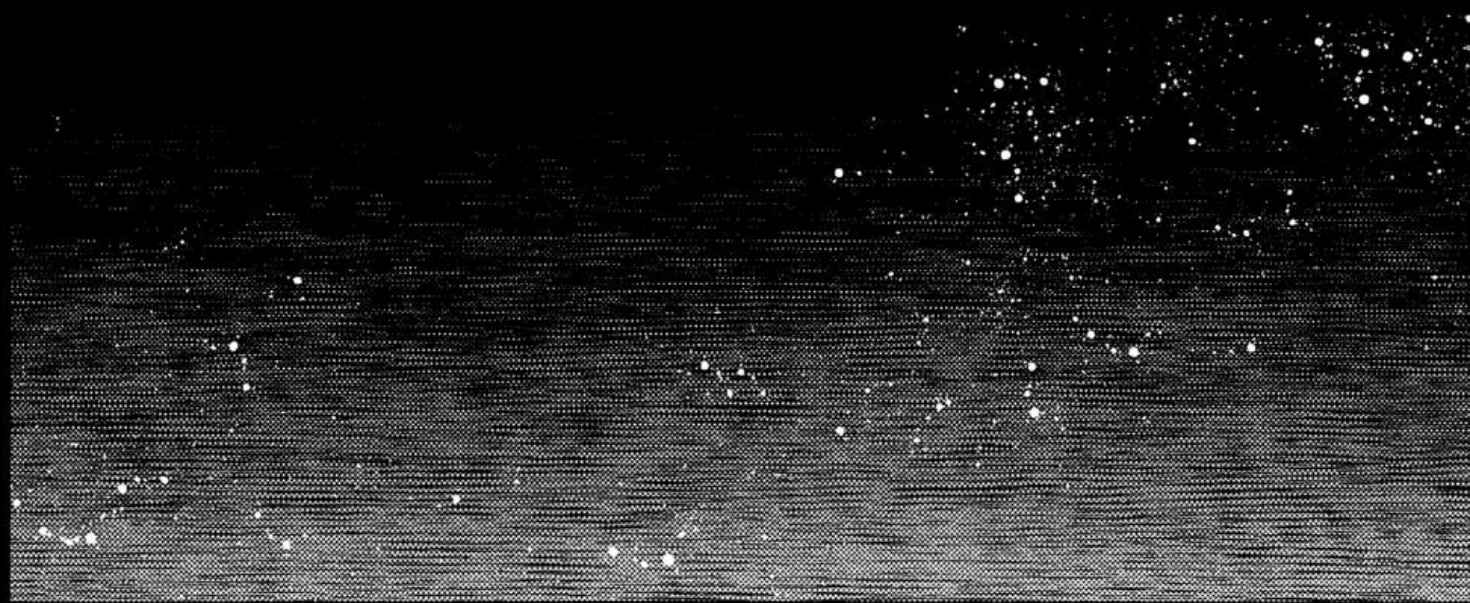
大っ嫌い……!

嫌い……ッ!

……ほんと

……おまえ  
ムカツク

妻えた



どうしてあんなこと  
言っちゃったんだろう

紅覇くんなんて嫌い…

そんなこと  
思っていないの…

だって紅覇くんはいつも  
ムリヤリで  
僕の言うことなんて  
聞いてくれない

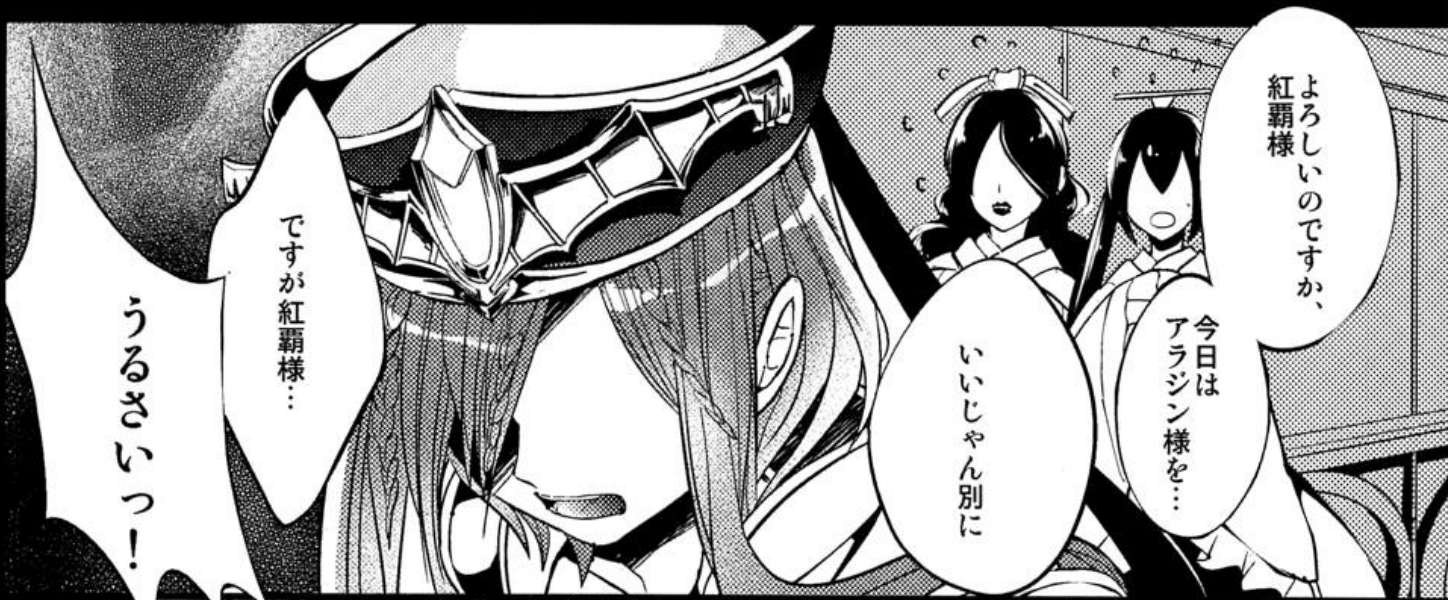
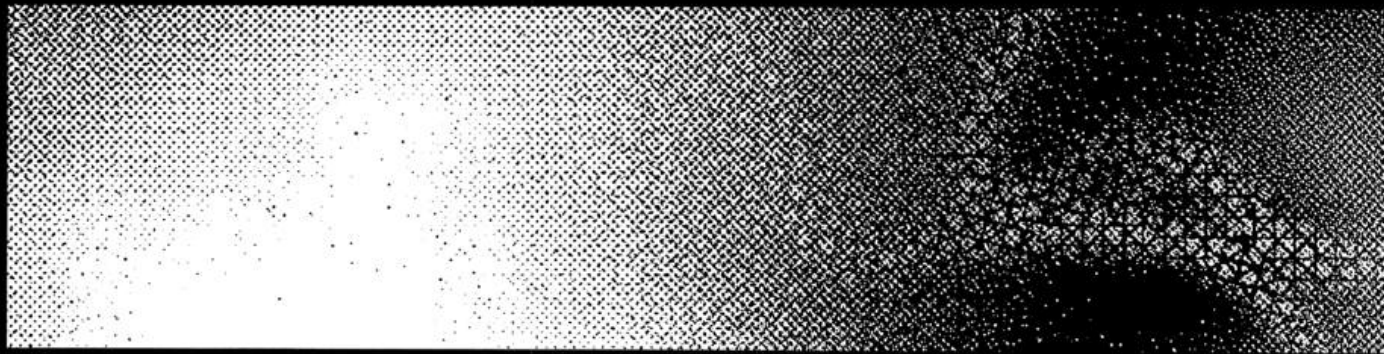
紅覇くんは  
僕のこと

アラジンちゃん

最近一等客室の奴だ  
随分気に入られてるみたいだな

一体どんな魔法を  
使ったんだ？

……？



よろしいのですか、  
紅覇様

今日は  
アラジン様を…

いいじゃん別に

ですが紅覇様…

うるさーっ！



あいつは僕を  
嫌いだって言ったんだ…っ！

もう知らないよ！

ほっとけばいい、  
あんな子…っ

紅覇様…

紅覇様…っ！

何  
うるさいな...

大変です！

アラジン様が...

——  
ほら



噂はホント  
見てえだな

身体売って成績  
上げてもらってんだろ？

なっ...



みろよ  
精液が溢れてきやがる

どうやらさつきまで  
お楽しみだったみてえだぜ

ハッ

ハッ

通りでコードル6の  
落ちこぼれが  
いきなりコードル1に  
あがるはずだぜ

こんな格好しておいて  
よくいうぜ  
説得力ないですよ〜

俺らもそのお零れに  
預かりてえ〜

そんなこと…っ！  
僕はちやんと…っ！

アラジンちゃん…？

わっ

口塞いとけ  
バレると厄介だ

由…？  
さっきまで  
お前がやってたことと  
同じだろ…？

…やめて  
おくれよっ！

これんだい

っ…や！

んぐ…っ

んぐ…っ

同…？

んぐ…っ



こんなだ...

そろそろ入れるかい

いんじやぬ  
きつさと輪巻をうせ

この人達の手は  
気持ち悪いのに



ほーっからアラジンちゃん  
入れちやうよく?



嫌だ...!!

ぐっ—!

わ



ねえ

それ、僕のなんだけど

何してるの…？

え…っ

っ…あ

紅覇く…っ

なんだアンタ

もしかして  
一等客室の…

今俺たち  
お楽しみなんだよ

なんだったら、  
アンタも交じって…





おまえ

殺されたいの？

それは僕のだと  
言っただけだよ？



殺されたいのならさあ  
このまま逃げなよ

ほら、どうしたの

ゆ、許し…

や、やめてよ  
紅霸くん!!





でも

あのおにいさんも  
紅霸くんと…  
同じことしようと  
したただだよっ

あっ…

…ち、ちが…



あいつら  
おまえに  
ひどいことしたのに

殺したってーじゃん…



……

そうだね

僕も  
あいつを

ああ

おまえたち

はい  
紅覇様

こいつ  
綺麗にしてやって

こ、紅覇くん

はい、  
畏まりました

もうしないから

ポツ

あの……

じゃあね

僕は今……!

紅覇くんを  
傷つけてしまったんだ



何...

.....

何...

あつこ 一体どうして...  
ニミとニミ...  
何...  
...

何にか...  
Sen Site...  
...



助けてもらったのに  
まだお礼にも  
言えてないよ...っ



あんなことが  
言いたかったんじゃ  
ないんだ...



紅覇様も  
会いたくないと...

今は会わない方が  
いいと思います

僕は...  
嫌われてしまったのかな...

不...

紅覇様

何…

アラジン様と  
お会いに  
ならないのですか？

会えるわけ  
ないじゃん

……

女たちは抱けば  
バカみたいに言んだ

アラジンに  
どう接していいか  
わからなくなつたんだ

でもあの子は  
違う—

そんなの  
分かってたのに

どうしたら  
アラジンは  
喜んでくれるの……っ

愛し方なんて  
わからない——……っ

でも



紅覇様

言葉で伝えなければ  
伝わらないこともあります

それをそのまま  
伝えてみるは  
いかがでしょうか

紅覇様が  
どう思ってるか

きっと伝わります

だって紅覇様の



やっと出会えた  
求めていた方ですから



自分を  
傷つけないでください

ホッ

ホッ

紅覇様はこんな私達を拾ってくださいました。

とても綺麗なお方です。

お前達を拾ったのなんてそんなの気まぐれだよ……

いいえ、

それでもずっと傍にいてくださって許しています。

ずっと側にいれば分かります紅覇様がどんな方なのか

ですからきつと……

対等に

私達では埋めることが  
出来なかつた  
紅覇様の心を

紅覇様を  
愛してくださる方が

愛される方が

いづつかきつと

だったら

ああ



それは……

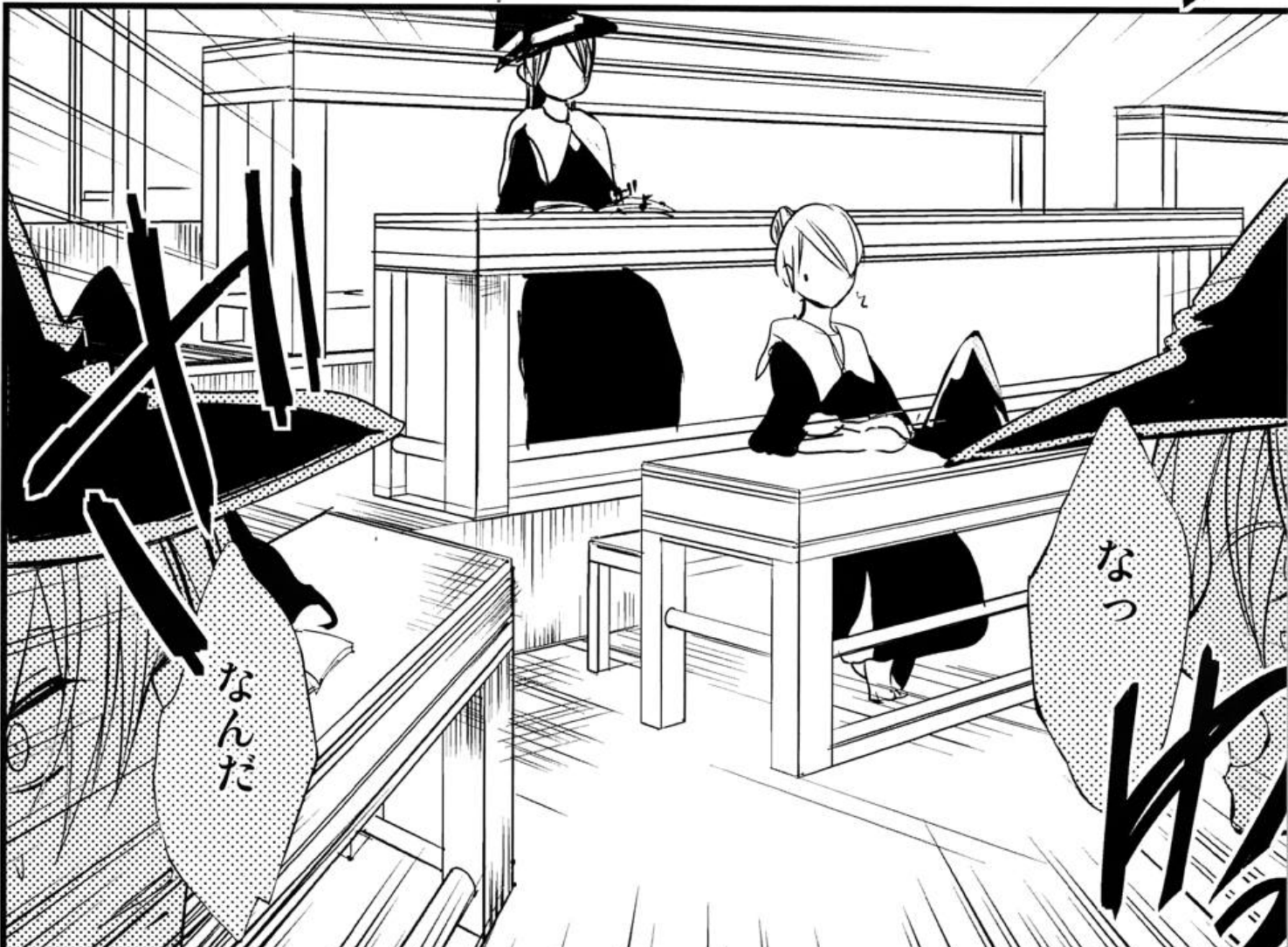
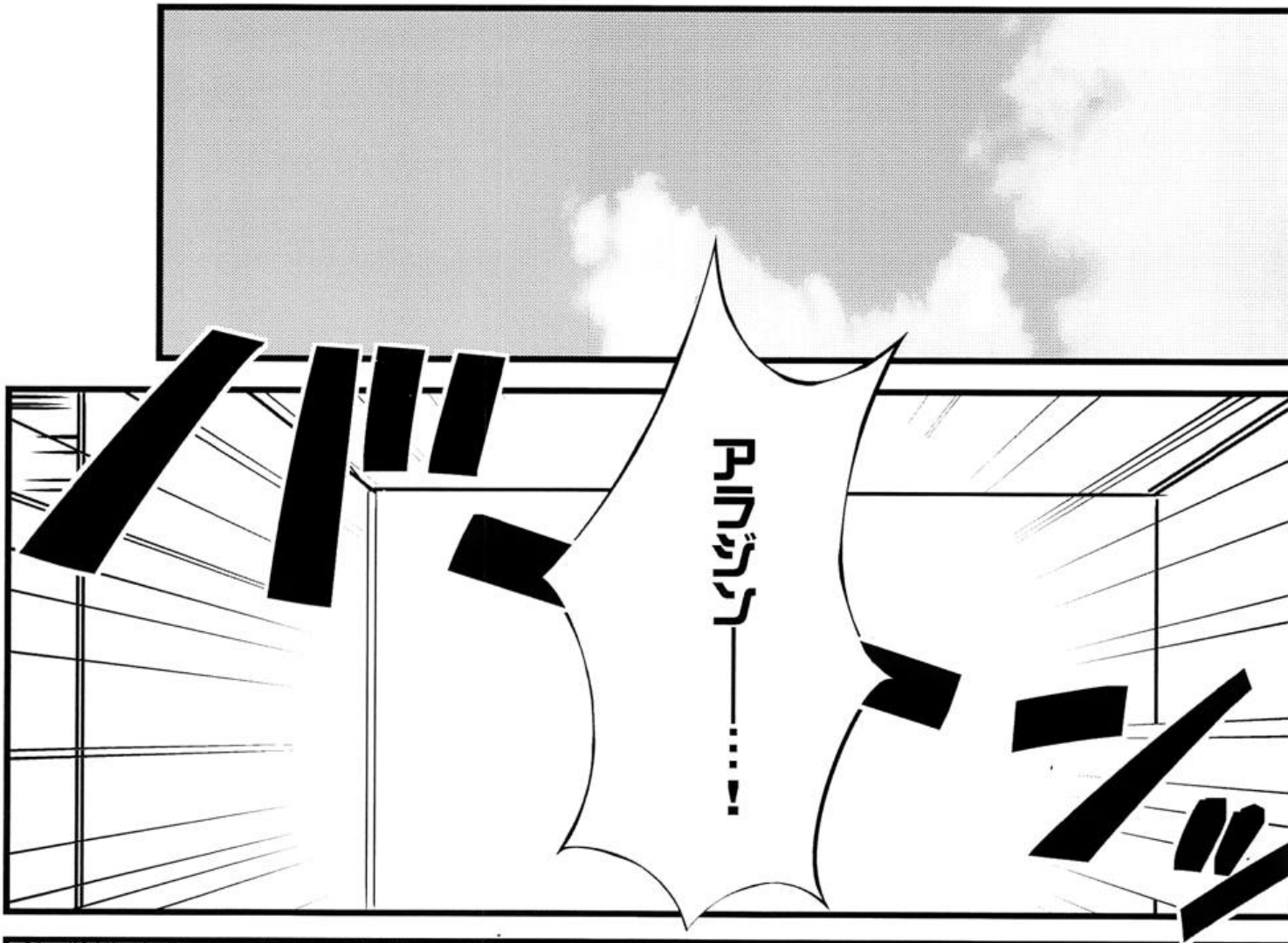
もし現れてくれるなら

『紅覇くん』





月が見える夜に





こ、紅覇く...

な

まあでも  
なんか偉そうっ

あいつ、誰だ!?



ちよ、待てよ  
アラジンに何の用だ!

スツ  
スツ  
くん...

お前に用はないよ  
邪魔しないでよね  
用があるのはアラジン





今まで  
おまえの気持ち  
考えずに抱いてた

アッ……い……めん



はい?

え



抱けばおまえが  
喜んでくれると思ってたから

でも違った



.....紅覇く.....?

ちやんと  
伝えてなかつたよね

僕は  
おまえが好きだ





紅覇くんこそ

謝れるんだね……

お前が……

お前だからだよ

僕がお前以外に  
謝るなんてこの先ない

そんなの初めて  
謝ったに  
決まってるでしょ……

え、  
何だい……?

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

初めて  
好きになった  
人間に

嫌われるなんて  
やだからね

え…

好きって  
えっ!?

やっぱり分かって  
なかったんだね



やっ、だって

分かるわけない  
じゃないか!

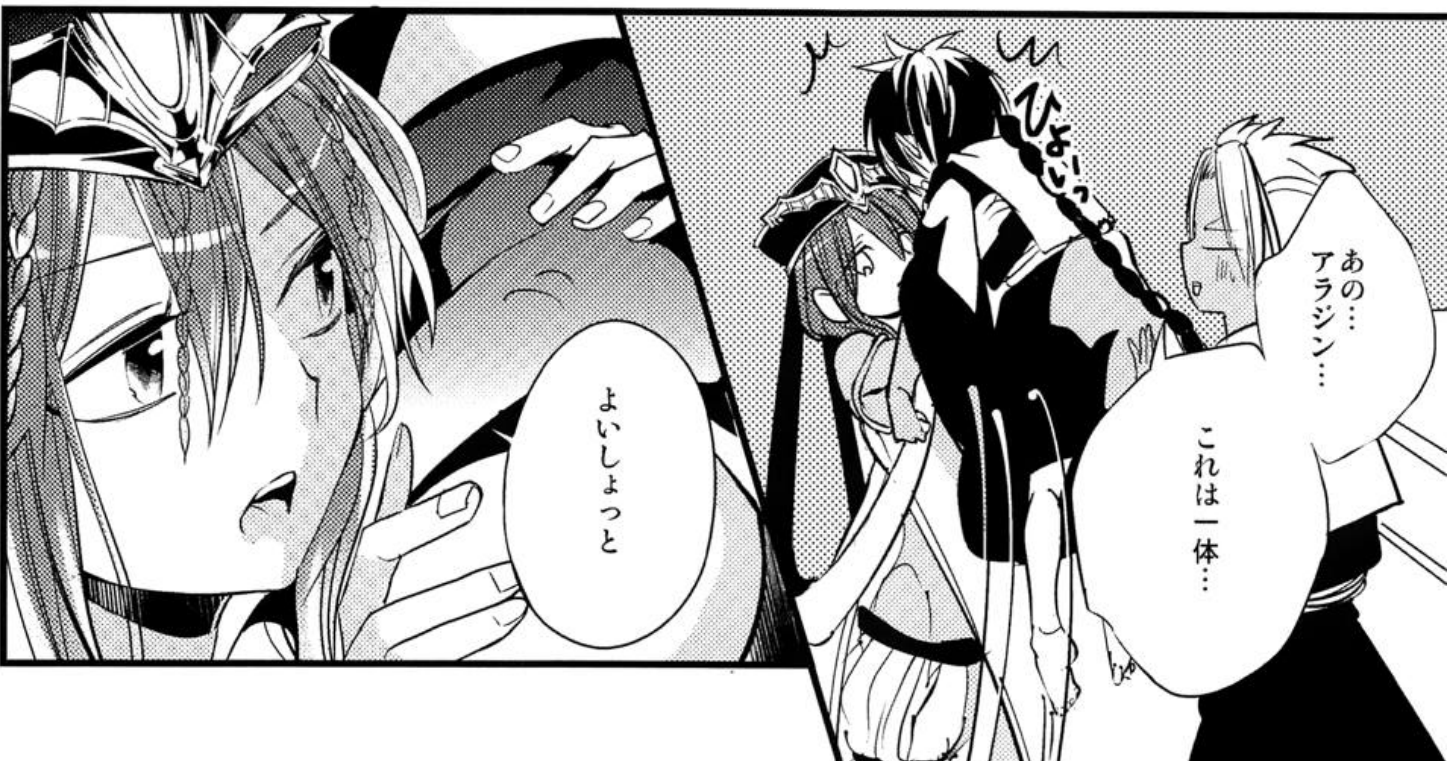
あ、あ、あ

あ、あ、あ

紅霸くんは  
僕をおもちやか  
何かだと  
思ってるんだと…

ギヤ  
(おまへの悲鳴)

好きでもない子しかも  
男なんて抱くわけないじゃん  
おまえバカ?



あの…  
アラジン…

これは一体…

よいしょっと







待って、紅覇くんっ

ひやっ

ちよ

おっす



何...?

待ってっ

はあ？  
なんで？

僕の気持ち伝えたじゃん

何か問題

さっき僕の気持ち  
考えるとか言ってた  
あれは何処  
行ったんだい!?



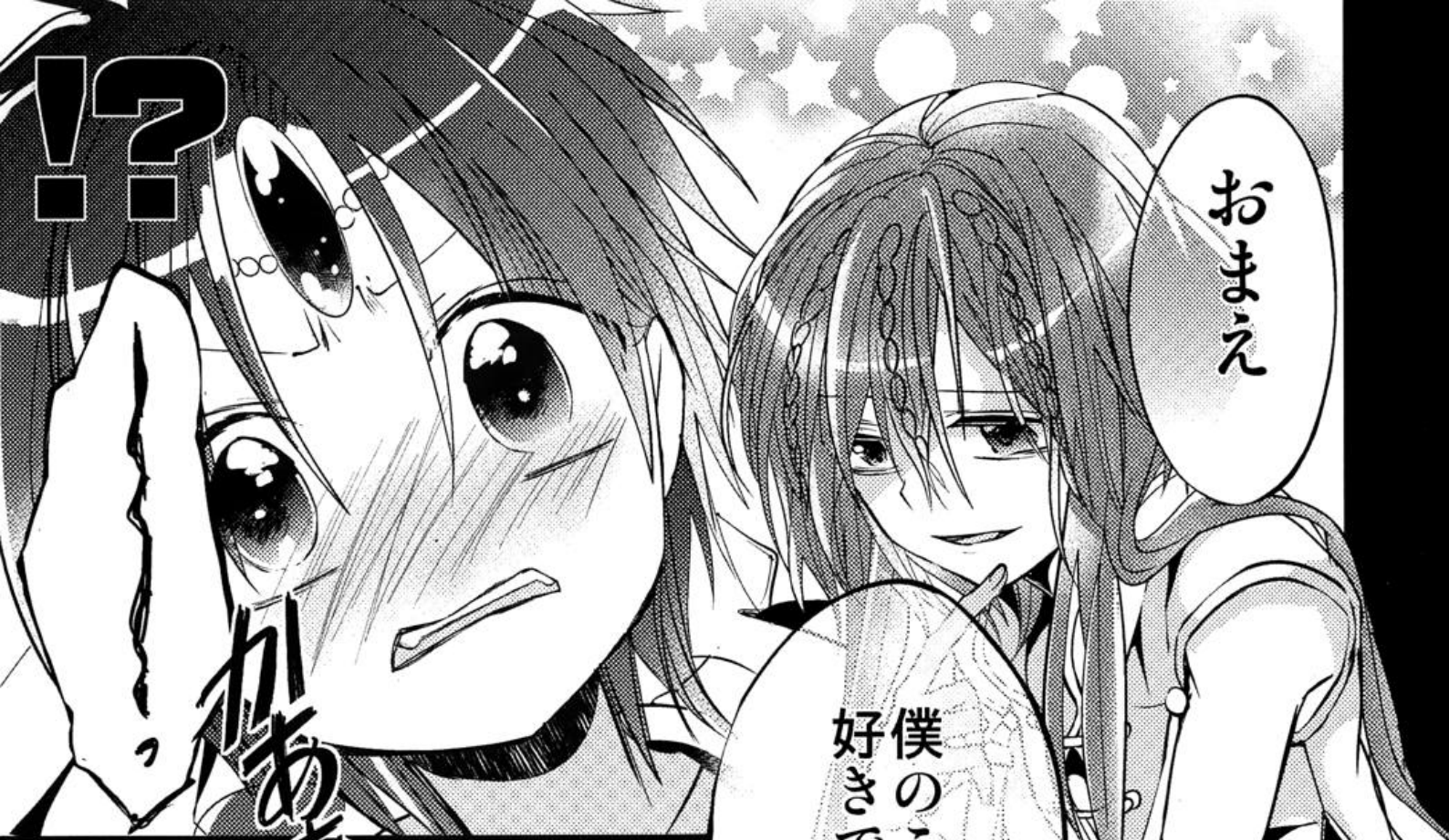
もうこういうこと  
しないんじゃ...っ

あーあれね  
おまえの  
嫌がることはしないよ

だ、

だったら

だって



!?

おまえ

あああ

僕のこと  
好きでしょう？



ちゅっ

聞かなくてもわかるよ  
おまえと  
違ってさ~~~~

ちゅ  
違うに  
決まって

うそつき



ちよ、そんなこと  
どうして分かるんだい

ちよつと  
黙ってなよ

ん……っ!

教えてあげるから

ん~~~~っ

んんん!

ちゅっ

ちゅっ

ふっ...

ちぎ...

ん...

チエウ...

ほら  
お前のこころ

すごく  
ドキドキしてるよ

僕に反応してる  
証拠でしょ？

やっ

ちが...



ねえ  
聞いて

分かる……？

僕のことも  
反応してるの……

……  
……  
……



お前が好きだよ

好き…っ

やめて  
おくれよ!

やっ…!!



聞きたくない…っ

どうして…?

やっぱり僕が嫌いだから?

恥ずかしいなあ…っ

あいつらと  
まだ僕は一緒なの?



っ  
~~~~~  
!!

紅覇くん…っ!

一緒なわけない  
じゃないか…っ

今にも

心臓が  
はち切れそうなのよ

ズ  
ズ  
ズ

おは  
ねえ、アラジン

ひやあ…っ

お前の…

見える？

ん…っ

僕のこと好きって  
言ってるみたい

嬉しそうに  
締め付けて  
くれるんだよ…っ

そういうの  
やめておくれってば…っ

やだ  
おまえが  
僕のこと好きって

言ってくるまで  
やめないよ〜

そんなんっ…!

んっ…!

あふん…

んっ…

ねえ

好きっていいなよ

アラジン

.....  
っ





紅覇様

キッ

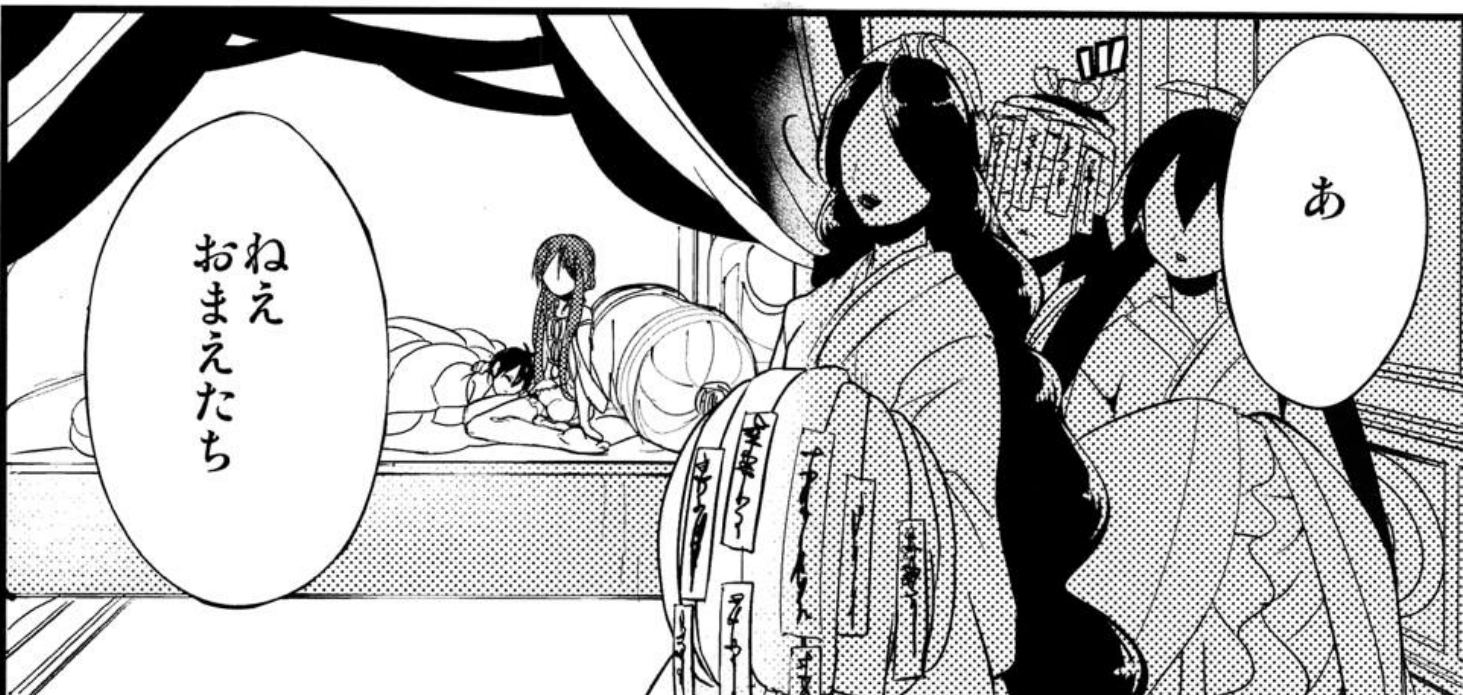


あ〜〜〜

もう少しだけ  
このままに  
させてくれない？

アラジン眠ってるし  
また後で呼ぶから

はい、紅覇様



ねえ  
おまえたち

あ




おまえたちが  
いつか言ってた

僕の隣に  
いる人間は



この子がいい



おまえたちが  
いなかっただけ  
気づくことも  
出来なかった

こうして  
今いられるのも  
おまえたちの  
おかげかもね

だから

ありがとう

おまえたちには  
感謝してる

これからも  
そばに居てよ





勿体無い  
お言葉です~~~~  
好き!

大好き...!  
すつと  
お側にいさせてください...!

こらっアラジンが  
起きるだろ~~~~!

ん~~~~

兄様たちと

この3人と

ずっと側に  
いてほしい人間はできた

この子がいれば

もう何もいらぬら

おやすみ、アラジン――  
……









2013.3.17

©しまもん.4ニニ

元すけと七不様

<http://ootamu.com/LOVERS/>

Pixiv = 1417751



mentaimayo@sinapan.kirara.jp

無断転載・オレシヨニハ、出品禁止。



